



令和元年6月20日
No.82

社協だより



島根県西部地震からの復興を考えるシンポジウム



4月14日(日)サンレディー大田で「島根県西部地震からの復興を考えるシンポジウム」を開催し、220名以上の方にご参加いただきました。

このシンポジウムは、島根県西部地震の発生から1年以上が経過した今もなお支援を必要としている人がいることの現状や課題を共有し、復興や今後の防災活動に活かすことを目的に開催しました。

基調講演では日野ボランティア・ネットワーク(鳥取県)の山下弘彦さんを講師に迎え、「復旧と復興の地域課題」と題して講演いただき、パネルディスカッションでは日野ボランティア・ネットワーク、復興支援隊「縁」(鳥取県)の森本智喜さん、大田市災害ボランティア活動者の雲石和仁さんをはじめ各関係機関からそれぞれの取組みや課題について報告いただきました。

大田市の課題を共有するだけではなく、他県の取組みや課題を踏まえながら考えることができたことは復興に向けて大切なことをより鮮明にしてくれたと思います。

復興に向けて大田市が抱える様々な課題を共有し、オール大田で取り組むとともに、震災の経験を次に活かしていく必要性を感じました。

講座開催情報

広報音訳ボランティア養成講座を開催します



広報音訳ボランティアとは……

文字による情報入手が困難な方に、「声のたより」として広報及び生活に必要な情報を声でお伝えするボランティアです。

この講座は音訳についての学びを通じ、文字による情報の入手が困難な方への理解を深め、音訳に必要な知識や技術を習得することを目的として開催します。「音訳ってどういうもの?」「音訳に興味がある」「声のたよりを一緒に作りたい」と思われる方、基礎から一緒に学びませんか?

<日程> 5回

7月	20日(土)・27日(土)	講座時間 9:00~12:00
8月	10日(土)・24日(土)	
		31日(土)

- 場所** 大田市民センター2階 社会福祉協議会会議室
- 対象者** 音訳に興味があり、講座終了後は音訳ボランティアグループに参加し音訳活動ができる方で、簡単なパソコン操作が可能な方
- 定員** 10名程度
- 費用** 1,000円程度(テキスト代及びボランティア保険料)
- 申込み** 7月12日までに大田市社会福祉協議会までお申込みください



点訳奉仕員養成講座を開催します



点訳奉仕員とは……

本や広報誌などの紙に書かれている文字(墨字)を指で触れて読むことができる「点字」に訳す活動を行うボランティアです。

この講座は点字や点訳に関する学びを通じて、視覚障がいのある方への理解を深めるとともに点字に必要な知識や技術を習得することを目的として開催します。「点字ってどういうもの?」「点訳に興味がある」「点字を勉強したい」という方、一緒に基礎から学びませんか?

<日程> 12回 講座時間 14:00~16:00

9月	14日・28日(土)	10月	12日・26日(土)	11月	9日・30日(土)
12月	14日(土)	令和2年1月	11日・25日(土)	令和2年2月	8日・22日・29日(土)

- 場所** 大田市民中央図書館2階 会議室
- 対象者** 点字に興味があり、講座終了後は点訳サークルに参加し点訳活動ができる方で、ノートパソコンをお持ちの方
- 定員** 5名程度
- 費用** 1,500円程度(テキスト及びボランティア保険料)
- 申込み** 8月30日までに大田市社会福祉協議会までお申し込み下さい



聞こえのサポーター養成講座を開催します！

講座では、聴覚障がいについて知り、コミュニケーション手段である筆談等に関する必要な技術やポイントについて、体験を交えて学びます。

聞こえのサポートとは？

「聞こえにくい」、「聞こえない」ことにより日常生活を送る上で感じる“困難さ”等について理解し、誰もが暮らしやすい地域づくりを広めていく心を持ち、筆談等の方法を活用して「聞く」「伝える」ことへのちょっとした援助や配慮を行うことです。

開催日	第1回 7月27日(土) 13:00~16:30
3回シリーズ	第2回 8月24日(土) 13:00~16:30
	第3回 9月7日(土) 13:00~16:30
	会場
定員	15名程度(申込み順)
申込み	下記の申込先まで電話かFAXにてお申込みください。
申込締切	令和元年7月19日(金)



申込先 問合せ先 〒694-0064 大田市大田町大田イ128 大田市社会福祉協議会
電話:(0854)82-0091 FAX:(0854)82-9960 (担当:大迫・大久保)

緩和ケアネットワーク大田よりお知らせ

令和元年度 石見銀山がん哲学外来ミニカフェを開催します

以下の日程で石見銀山がん哲学外来ミニカフェを開催します。
お茶やお菓子で一息つきながらお話ししましょう。

参加費
無料!!

場所 大田市民センター1階
(機能訓練室)

時間 10:30~11:30

日程 7月7日(日) 9月1日(日)
11月10日(日)
令和2年1月19日(日) 令和2年3月1日(日)

流れ 受付…事前申し込みは不要です
カフェ…ご希望の方には個人面談もを行います
閉会

がん哲学外来とは…

がんと告知されてから、あなたが考える「悩み・不安・想い・願望」など、対話をとおして「解消できる道」を一緒に探し「医療の隙間」を埋める活動です。がんを患うご本人だけでなく、支えられている家族の方々、ご遺族、医療従事者、市民などお互いの立場を超えて、ともに寄り添い自由に語り合います。お気軽にお立ち寄りください。

【問い合わせ】
大田市立病院地域医療連携室
電話 (0854) 84-7199

「島根県西部地震からの復興を考えるシンポジウム(H31.4.14)」を

大田高校 報道部
坂根絵美さん・細田有希さん

高校生記者が取材してくれました!

繋がりに見える現実

～1年がたち西部地震について考える復興シンポジウム～

2018年4月9日未明に起こった最大震度5強の島根県西部地震から1年が経った4月14日(日)、サンレディー大田で、市のこれまでの復旧・復興への取り組みを振り返るシンポジウムが開かれた。

市内をはじめ、県外からも約200人の様々な方が来場した。日野ボランティア・ネットワークの山下弘彦さんが、「復旧と復興～復興への地域課題～」という基調講演をされた。その後行われたパネルディスカッションでは、「被災後の地域を守るには」というテーマで活発な意見交換がなされていた。

今回の地震で、島根県大田市は災害の少ない地域、大規模災害など起きないという根拠のない考えが、いとも簡単に覆された。現在に至っても、市内のあちこちでブルーシートが屋根に張ったままであったり、危険家屋として取り壊されたりしている。

山下弘彦さんが、2000年の鳥取県西部地震の経験を活かし、現状の大田市の問題点として、困っていても誰に相談すれば良いのかわからないといった情報共有が足りないことを指摘された。また、パネルディスカッションでは2016年の鳥取県中部地震後に有志で結成した復興支援隊「縁」の森本智喜さんは、「被災から2年も経てばもう復興はできたでしょ」という誤解と関心の薄れを取り上げられていた。確かに周囲で地震のことを振り返り話し合うことなどあまりなく、私たち自身あやふやな記憶しかない。そこで、なぜ考え方に格差が生まれてしまうのかを聞くと、被災経験の有無や、ボランティア経験の有無を挙げられた。実際に被災地に行き、地元の人との交流が大切だという。取材する私たち自身、残念ながらボランティアをしたことがない。そこで、1年前に「災害ボランティアセンター」のボランティア活動に参加した大田高校生に話を聞くことにした。

野球部でボランティアに参加し、土壌づくりを行った3年生の梶原丞さんと佐々木青葉さんは、「ボランティアの雰囲気は、大田高校生も多く、自分たちができることをしようというやる気に満ちていた」と言う。そして、「いつ何が起きてもおかしくない。助け合うことができればいい。継続してボランティアができればいいのだが、それが難しいのなら、募金をするか忘れ



復興への地域課題を話す
山下弘彦氏

ない努力をすればいいと思う」と語った。また、2回ボランティア活動に参加した3年生の知野見楓果さんは、「地震のせいで心が落ち着かない人がいた。将来、私のような人の支えになりたい。薄れゆく記憶を忘れず、しっかりと語り継ぐことが大事だ」と語ってくれた。

森本智喜さんの言葉が、ずっしりと胸に響く。現在は以前と比べて、地域の繋がりが薄れつつある。しかし、緊急事態が発生したときに最も重要なのは、地域住民との協力であり、情報共有なのである。決してよそ事では済まされない。私たちはそれぞれ、今求められていることが何なのかを絶えず考えていかなければならない。老若男女、特にこれからを担う若者が、このようなシンポジウムなどの場で、積極的に交流することが大切なのではないだろうか。地域の繋がりを取り戻し、より良い復興のあり方や被災地からできる防災の形を再考する契機としていきたいものだ。



来場された方々による応援メッセージ

取材を通じての感想



大田高校 報道部
坂根絵美・細田有希

今回は報道部として、外部の方からの依頼を受けて復興シンポジウムの取材を行ないました。少し緊張はありましたが、2人で協力して行なえたのでよかったです。また、記事を書く際に、普段とは違い事実だけではなく、私たちの視点で課題に対する考えを書くのは初めてだったので、戸惑いました。

何を一番伝えたいのかをはっきりさせることや、構成を考えるのに時間はかかりましたが、自分たちで納得のいく文ができたと思います。この度は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

大田高校報道部紹介

大田高校報道部は、ももとは新聞部という名称で活動しており、伝統があります。近年、部員の数が少なく、取材して新聞記事を作成するのが大変ですが、協力して頑張っています。その甲斐あって、2016年から3年連続で全国高等学校総合文化祭に出場させていただきました。現在6人で和気あいあいと『瓶陵新聞』を作成中です。



2019年度 介護の入門的研修

参加者募集

7月30日(火)～8月1日(木)

大田市民会館 中ホール

※全日程 9:00～17:00(お昼休憩60分)

介護の基礎を学びませんか?

日常に役立つ知識から介護の現場で最低限必要な基本的な知識や技術まで、分かりやすく楽しく学べます。全課程を修了された方には県知事から修了証が発行されます。

大人気の研修ですので申込はお早めに!

対象者

次のいずれかに該当する方

- ・介護に関心がある方で現在介護職として就業していない方
- ・これから介護の職場に就業を希望されている方

主な内容

- 日常に役立つ介護の知識
- 介護職として必要な知識・技術

募集定員 20名程度

受講料
無料

申込締切

7月16日(火)

申込・
問合せ先

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会
(島根県福祉人材センター石見分室)

☎0855-24-9340

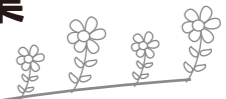


シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集



令和元年

大田市シニアクラブ連合会 事業計画

重点目標

- 高齢者の知識・経験を生かした活動の活性化
- シニアクラブ活動への加入促進の強化
- 健康づくりと友愛活動の推進
- 世代間交流の推進

健康づくりと介護予防事業

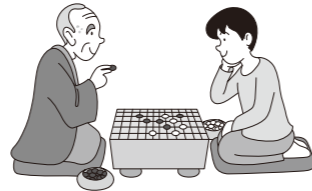
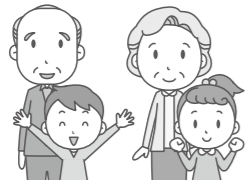
- 健康教室 市内14地区で開催(4月～3月)
- 体力測定 各クラブにて実施(4月～3月)
- ダイヤゾーン・ボール大会(5月30日)
- ペタンク大会(6月6日)
- 温泉津ブロック健康スポーツ大会(6月18日)
- グラウンドゴルフ大会(7月8日)
- 仁摩ブロック健康スポーツ大会(7月12日)
- ゲートボール大会(9月5日)
- 大田ブロックスポーツ大会(10月17日)

文化事業

- 活動推進研修会(9月19日)
- 親睦旅行(10月24日～25日)
- 囲碁・将棋大会(10月31日)
- 芸能大会(2月14日)
- 福祉展(3月7日～8日)

地域を豊かにする活動

- 支え合う仲間づくり(友愛活動)
- 世代間体験交流と子育て支援事業
(伝承活動・世代間交流)
- 温泉津ブロック福祉大会(10月11日)
- 仁摩ブロック福祉大会(11月15日)
- 広報・情報の収集発信(広報誌の発行)



第5回ダイヤゾーン・ボール大会

5月30日温泉津町総合運動場において、第5回ダイヤゾーン・ボール大会を開催いたしました。36名の選手が6チームで競技開始。大屋寿会チームが見事に優勝されました。個人ではホールイン・ワン賞が2本出て楽しい大会となりました。このゲームはグラウンドゴルフで使用する、スティックを使用できるゲームです。是非皆さんも次回参加されては如何でしょうか。



親睦旅行のご案内

のんびりとお芝居と舞踊ショーを 楽しみましょう

令和元年10月24日(木)～25日(金)

旅行先/湯迫温泉でお芝居と観劇・西王寺・備前長船

宿泊先/湯迫温泉 白雲閣

会費/29,000円(多少前後する場合がございます)

募集締切/9月26日(木)人数がそろい次第募集を締め切ります

お問い合わせ・申し込みは、各単位クラブ会長まで
シニアクラブ事務局 ☎(0854)84-0266

募集人員
30名～
(最大35名)



自主財源の 確保に ご協力を

シニアクラブでは「島原手延べ麺」購入で、自主財源の確保に努めています。麺は乾麺で日持ちも良く、お中元にピッタリ！
購入頂いたクラブへは、購入金額により配分金があり、会の財源確保にもなっております。

ずっとつながる

大田市シニアクラブ連合会

〒694-0064 大田市大田町大田イ128番地
TEL 0854-84-0266
FAX 0854-82-9960
月曜日・木曜日 8:30～17:00(祝日休)

ホットつたわる

大田 〇香典返し寄付
 岡 湯川 神谷 曾田 田中 新治 山崎 橘 錦織 市 池田 志学 野城 富山 波根 久手 鳥井 長久 静間 五十猛 大屋

裕士 花田 山内 長谷 曾田 床田 幸男 春子 浩司 弘章 直子 涼太 光彦 厚美 和博 隆徳 加藤 友規 暢子 一正 達也 祐司 邦彦 幸一 恒久 友実 敬則 海塚 三島

花田 山内 長谷 曾田 床田 幸男 春子 浩司 弘章 直子 涼太 光彦 厚美 和博 隆徳 加藤 友規 暢子 一正 達也 祐司 邦彦 幸一 恒久 友実 敬則 海塚 三島

花田 山内 長谷 曾田 床田 幸男 春子 浩司 弘章 直子 涼太 光彦 厚美 和博 隆徳 加藤 友規 暢子 一正 達也 祐司 邦彦 幸一 恒久 友実 敬則 海塚 三島

大森 水田 照一 品川 行男 渡邊 雄児 石田 智 梶 満之 樋 満之 工通 千鶴 坂根 宏司 友村 光男 仁摩 石橋哲一朗 大谷 幹夫 田中恵利香 松原 真 兵庫真 中谷 厚子 東京都 松原 白石 淳 波根 知野見清二 大代 中垣 貞義 公益社団法人 石見大田法人会 〇食品・学生服等の寄贈 大田 福田佳代子 大田市役所総務部危機管理課 他多数の方々にご協力いただきました。

以上、1,337,466円のご寄付をいただきました。また、古切手ブルタブ、ペットボトルのキャップも多数いただきました。

ご寄付ありがとうございました
 大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます
(平成31年4月～令和元年5月受付分順不同・敬称略)
 ※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

編集後記

大田市東部を中心に被害をもたらした地震から1年が過ぎました。思い起こせば震災直後は、被災された方々を救うべく多くのボランティアさんが助けに来てくださいました。活動していたため、自前の機材を持ち込み活動していただいた姿に涙が出る

思いました。そして1年が経ち、今もなお継続的な支援のため、変わらず活動に参加していただいている貴重なボランティアさんに感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ活動は続き、みなさんのご協力を必要としていますので、一人でも多くの方にご参加いただけたらうれしいです。(ふ)

関西大学法科大学院の市民法律相談

関西大学法科大学院の市民無料法律相談が、大田市民会館で実施されます。

この取り組みは、弁護士が少ない地域に弁護士と学生を派遣し、地域社会にどのような貢献ができるかを探る試みとして実施するものです。

法科大学院学生の教育の一環として行うものですので、相談者の理解を得て学生が立会い、質問、助言などを行うことがあります。

相談については、次のとおりです。

日時 8月26日(月)
 10:00～15:30 (相談時間45分)

場所 大田市民会館 2階

- ◆ 予約方法：大田市社会福祉協議会 (☎0854-82-0091) にお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ◆ 料 金：無 料
- ◆ そ の 他：予約をされる際に相談内容について、事前に聴取をさせていただきます。